

第3章 | 計画人口実現のためのチャレンジ

将来の都市像を実現するために、「政策の大綱」で定めた8つの政策の取り組み方針に基づき、36の施策全てを着実に進めていく必要があります。

そうしたなかで、人口減少と高齢化による生産年齢人口の減少は、社会保障費の増加と税収の減少を招くため、今後、税収を確保し安定した行財政運営を進めていくには、計画人口で示した人口の増加、とりわけ生産年齢人口の増加に向けた取り組みが大変重要です。都市像実現のためには、計画人口の実現が鍵を握っていると言えます。

全国的に人口が減少していくなかで、市の人口を増加させることは容易ではありませんが、本市において人口を増加させるために特に効果的である次の5つの分野を「5つのチャレンジ」として位置付け、計画人口の実現に向け取り組みます。

ここに掲げた分野については、これまで以上に成果の向上をめざします。そのためには行政資源の重点配分も行い、よりメリハリのある行財政運営に挑戦します。

なお、これらの取り組みは、社会環境の変化や人口の動向などを勘案し、必要に応じて見直しを行います。

チャレンジ ① いつまでも元気に暮らせるまちをめざします

- 本市のブランドである健康づくりをさらに推進し、いつまでも元気に暮らせるまちづくりを進め、ずっと住み続けたいと思う市民を増やします。
- 高齢化が進むなかで、「あたまの元気まる」のような新しい取り組みを導入し、たくさんのかたが、心身ともに元気な生活を送れるようにします。
- 健康増進の方策として、「栄養」「運動」「休養」を意識した取り組みを積極的に進めるほか、市民と協働して「ウォーキング」「筋トレ」など健康づくり事業を実施し、働きかけを行うことで、健康づくりに取り組む機会を増やします。

チャレンジ ② 働きながら子育てしやすいまちをめざします

- 保育園の待機児童対策はもとより、育児休業からの円滑な復帰支援、保育園・放課後児童クラブの開設時間の延長など、多様化するニーズに応じた子育て支援策の充実を図り、働く子育て世代が住み続けられる、住みたいと思うまちづくりを進めます。
- 老朽化した保育園施設の改修、改築を進め、子育て環境を整備するとともに、その魅力を伝えます。

チャレンジ 3 次代を担う子どもたちが育まれるまちをめざします

- 基礎的・基本的な知識や技能の定着と、学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力などを含めた幅広い学力の育成を図るとともに、今日的な課題への対応や特色ある学校づくりを進め、次代を担う子どもたちを育みます。
- 老朽化した学校施設の改修や、情報教育への対応など、教育環境の整備を進め、子どもたちが学びたい、子どもたちを学ばせたいと思う学校のあるまちを創ります。

チャレンジ 4 住みやすく出かけやすいまちをめざします

- 市内に名鉄瀬戸線の駅が4つあるという本市の強みを活かすために、駅のバリアフリー化や駅前広場の整備を促進し、住宅都市として、通勤・通学が便利な魅力あるまちづくりを推進します。
- 高齢化が進むなかで、誰もが安心して移動することができるよう、市民からの要望の多い市営バス事業の充実を図るなど、買い物や通院のための市内の移動が便利な、住み続けたいまちをめざします。

チャレンジ 5 衛生的で快適なまちをめざします

- 衛生的で快適なまちづくりは、住み続けたいまちには不可欠の存在です。本市の下水道整備に対する市民ニーズは強く、重点施策と位置付け、積極的に取り組みます。
- 下水道施設をはじめ、道路、上水道などの本市の施設の老朽化への対応や維持管理費の増大が大きな課題となっていることから、市民ニーズや社会情勢の変化に対応した施設の効率的な管理運営を進めます。

これら5つのチャレンジの取り組みと成果は、積極的に市内外へ公表します。
あわせて、市の魅力を、見つけ出し、創り出し、発信する
シティーセールス[※]を行い、主に子育て世代の流入と
定住者の増加をめざします。